

日刊

えっと

第30回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会

大阪市西成区萩之茶屋2-5-23
釜ヶ崎解放会館2階

1999年12月25日

本日夕方4時～

三角公園で

オシロ回

釜ヶ崎越冬斗争突入集会

メシ・寝所・仕事を!

野宿固定化を打ち破れ

仲間たち、今日からオシロ回目の越冬闘争へ入る。

釜ヶ崎の求人が減り、多くの仲間が野宿を余儀なくされている。この状態は昨日、今日がじまったことではないことを、誰しもが身にこめて知っている。

釜ヶ崎反失業連絡会は、メシ・ネバコ・仕事を求め、多くの仲間と共に、粘り強く行政へ要求行動を積み重ねてきた。

大阪市のテント設置や高着就労事業の拡大などの成果があった。

だが、量的にはとても多くの仲間の求めに応えられないのではなかった。

長期化する野宿状態は、公園や大道にテントを張って、自治体等の仲間を増やした。

今年の夏、長居公園で会った仲間たちは、「ここで生きて行く自信がつか」と言った。

釜で仕事に就けなくなり、生き方に窮して長居公園にきた。そこでテントを見、アルミ缶を集めることで、増味期限切れの食品を集められるこ

とを聞いた仲間には、実践した。そして、「ここで生きて行く自信がつか」といっ。

生きるための努力は尊い、働く姿は美しい。しかし、人が生きていくために必要な栄養と休養する場を欠く野宿・テント生活は、確実に命を縮める。

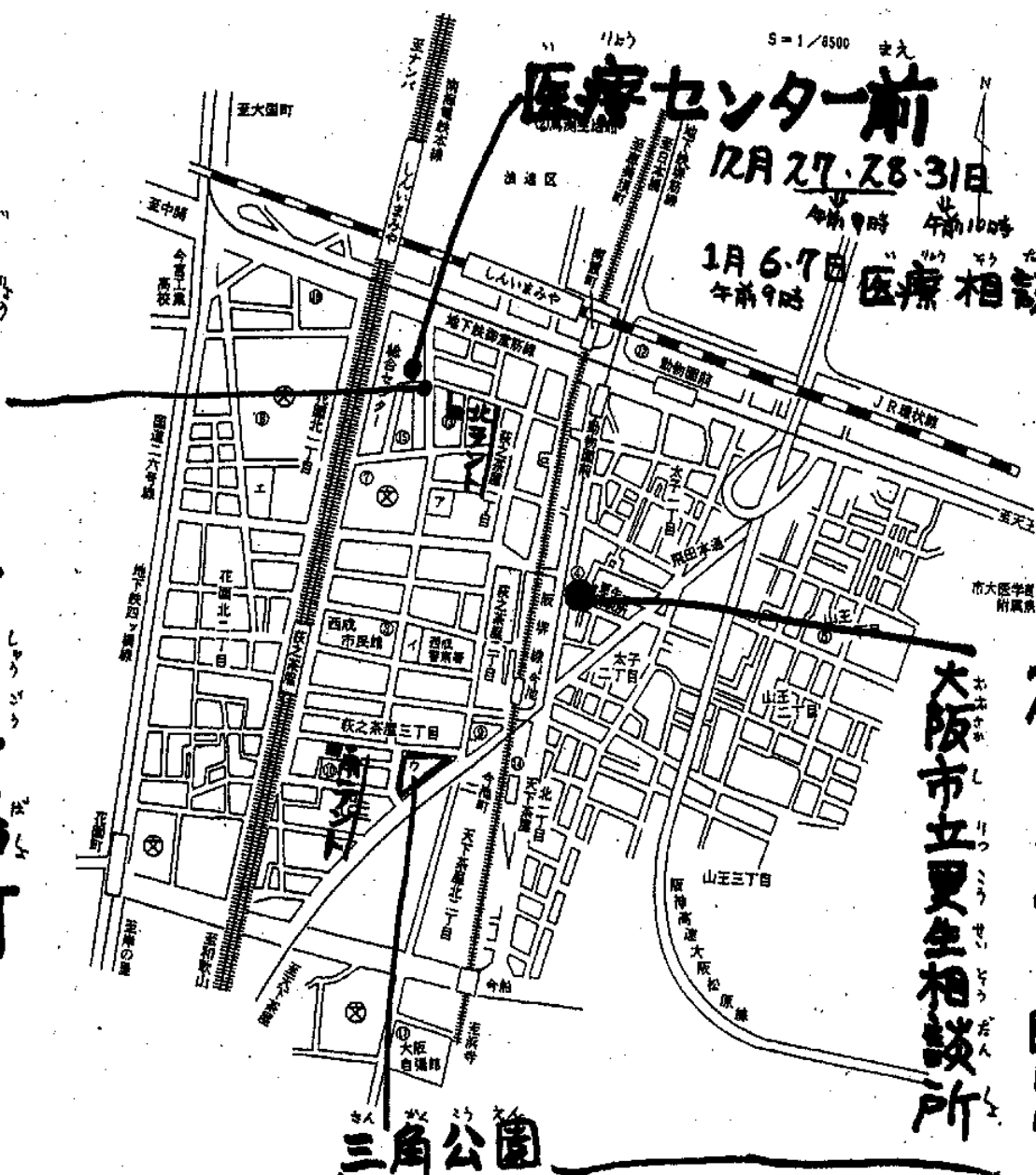
精一杯努力してなお生命を維持するに足りないメシ・ネバコ・シゴトを、社会に、行政に要求しよう。

野宿固定化を許さない気構えを持ち続け、生きるための一つとして要求し続けよう。冬を生き抜くのみならず、

昨日のモカ代 カンパ 73,367円

昨日、選挙会館でおこなわれたモカ代支給時に協力を呼びかけ、カンパを集めたした結果です。ご協力ありがとうございました。

えつとう関連地図



医療パトロール集合場所

医療センター前
12月27・28・31日
午前9時 午前10時
1月6・7日 午前9時 医療相談の日

大阪市立更生相談所

29日30日臨時宿泊所受付

12月30～1月3日まで
毎日催し物があります
腹にたまる一食の提供

えっとろ

報告 越冬闘争突入集会 三角公園で開かる

昨日、午後四時、三角公園において第三〇回越冬闘争突入集会が開かれた。例年なら六時から開催されるのだが、テントの整理券配布との兼ね合いもあって時間を早めておこなわれた。そのためか、支援に毎年顔を見せる仲間達の参加は少なかったが、寒風の中、吹き出し後ものこった多くの仲間が、参加団体の報告、訴えを聞きかたおけた。

一二数年の釜ヶ崎の状況は、野宿を固定化し、テントは各公園、道路に立ちこめている。南テント、北テントも季節に間隔なく運営されている。各個々人による生命防衛の闘いが年中くりかえり繰り返されている。

冬の寒さだけが、今とりわけて問題という以上の深刻さだ。

くわしく、一九七〇年暮から毎年おこなわれる越冬闘争は、仲間から一人の死者も出さなさをスローガンとして労働者の団結と連帯のあかしとしての側面を色濃くもつ、続けられてきた。そのことを思えば、実効性の評価とはまた別の評価で続けられることの意味がみいだせる。

仲間から一人の死者を出さず、一つのテント、一人一人の野宿者は決して孤立した存在ではない。仲間を支援し、盾としての野宿を命儀なくされていく仲間を再確認するたために、越冬闘争はある。がんばろう。

医療相談

午前九時から

医療センター前

27・28

明日、あつてこ、医療センター

前で医療相談がおこなわれる。

このころ、南北西テントで風邪

薬の減り

りが早風邪だと思って

も他の病をこらえる

こともある。

医師に診てもら

うことが肝要だ。

また、入院が必

要な仲間もいる。医療センターで診

てもらい、市更相入行って、病院へ

の入院、施設への入所で自分の体を

守ろう。

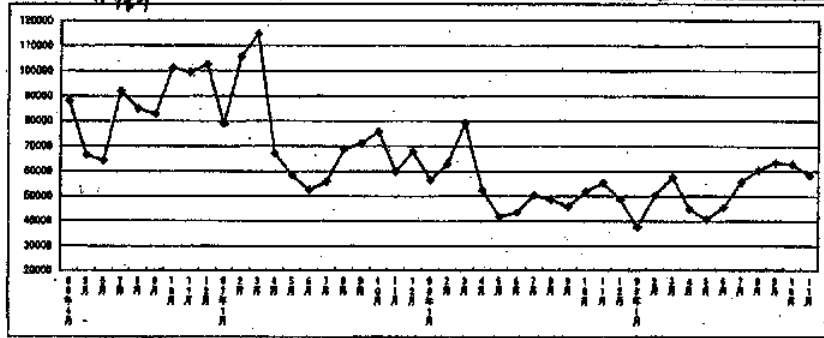
腹にたまる一食の提供毎日

三角公園 午前11時30分

明日の予定

衣類放出オズ弾! 朝8時センター1階

医療 パート 報告	北まわり 160名	北テント 260名
	南まわり 364名 医療センターF25	南テント 280名



左のグラフは、六六年四月から今年の一二月までの、田成労働福祉センターが調べた現金求人数の推移を示している。
 九七年三月以降の極端な落ち込みは、多くの仲間が野宿を余儀なくされた時期

低目安定で3年目 そろそろ目のさめる対策が...

でもある。
 石の上にも三年といふ言葉がある。極端な仕事の落ち込みから来年の三月で丸三年となる。我々にとってはおそまざるが、世間一般からして新たな対策が打ち出されて当然の期間が経過する。
 東京者は、特別冬期臨時宿泊事業II都内の民間宿泊所に30名の枠をとり、来年三月まで、就労支援を含めた宿泊事業」を決定し、一二月に四日に受け付けをしたと伝えられている。
 ようするに東京都は大阪市に先駆けて自立支援事業に手をつけたということだ。
 大阪では来年八月とも九月ともまわれる開始メドは、遅すぎものではないか。行政内部の分相がどうなっているか知りえないが、もう少し手ぬぐいぬき進めてもらわなくては、路上死が増えるばかりだ。 選挙対策!!

入一人の事情

二三日、夜、北テントの前、整理券を入り口で渡した仲間が次々と足早にテントへとおかわりを、一人たらずでながめている仲間がいた。列がとぎれ、ほとんど整理券を持った仲間は入りあわったように思える時間になってまたたすんでいた。どうかした?とまをかける。体の調子が悪く、整理券をもらう列に並ぶことができなかったという。
 その顔に目覚えがあった。ふさん、大正一五年生まれ、七三才。テント利用者の名簿を作り始めた九月に、このテントは建てた時から泊つていらるごまっていた人だ。北テントの利用は一年を起え、体調を崩したようだ。ふさんはその夜の政治前線巡回相談で自強館の施設に入った。
 せめて一食、カンパンではない一食

えっとの

大テント 閉鎖の日

12月29日
 として
 来年3月末日

南北の大テントを閉鎖する。29日
 夜から一月末日までの間。一月七日
 夜から再びテントとして提供を開始
 する。

仲間の最在限のテント確保として
 センターの夜間開放に引き続きの
 として大テントは運営されきた。

カンパンはあるものの、ほんとう
 にテントとしての機能を果たすものな
 閉鎖の期間中は、臨時宿泊所があ
 る。テントにはなり三食とフロアがあ
 る。規模も三千人と大テントとは比
 べものにならないほど大きい。

期間は一月末日までと限られてい

るが、よりまことな環境として提供に
 利用を促める。

これは予行演習でもある。

来年三月末日で南北の大テントは
 閉鎖を命ぜられる。こいわれて
 いる。その時、大テントにかわるこ
 のの規模を確保求めるための予行演
 習。助成金使いつくそうい

来年三月、なんの代案もなく、石
 まで送り抜くかのこくた大テント
 を閉鎖しようとするものは、自らな
 げた石を投げかえされる。必要な代
 案があれば、誰かが平安でいられる。
 そのことの証明の第一として、

明日28日は3日分(28・29・30)の輪番紹介

西成労働福祉センター
 は明日から1月3日ま
 で年末年始の休業とな
 る。しかし、地域内道
 路清掃や地区外就労は
 30日まで仕事をあこな
 る。

そのため、明日、28
 日には三日分の紹介が
 ちこなされる。

28日当日分の紹介が
 先におこなわれた後に
 29日分、30日分の紹介
 がおこなわれる。

セツかくの就労機会
 番号が確保されないよう
 よく確認しておこう。
 年明けは4日が仕事
 始め。

なお、30日8時に
 購券が販売されます。

西成労働福祉センター 高令者就労事業

医療パト報告

北まわり 238名
南まわり 393名
医療センター前 35名

北テント 260名
南テント 274名

昨夜から、パトロールをやっています。今夜は、昨日より、多いのは、釜にもとつき2人もいるのはあり思いました。すくなく、厳しい状況の中での30回目。30年目の越冬闘争。みんなで造る手づくりの英和園、心をひとつにして、やっていこう!

29・30 臨時宿泊所の受付方法

場所と受付開始時間

29・30の両日、南港・臨時宿泊所の受付が市更相でおこなわれる。

受付開始は朝の時半から

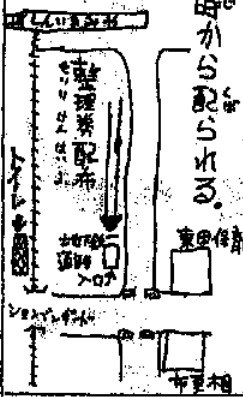
市更相での面接受付は朝の時半から。30分からだ。市更相の正面入口から入る。

受付開始時間は朝の時半だが、二二数年、前日28日の深夜から長い列ができるので、整理券が配られるようになった。

整理券配布は午前四時から

整理券は当日、午

前四時から配られる。



一人一人の事情

南テントで、どこか具合の悪いところはないですか、と声をかけたら、今ごろなんだ、いままで何度も悪通りしておいて、と怒られた。

Aさんは昭和七年生まれ、六七才、血圧が高く、医療センターの薬でうにか二〇〇程度にあさえており、心臓の具合も悪いという。

いままで薬を分けなかったことを詫言、臨時宿泊所の前倒しで施設に入れるけど行きますかと聞いたら、ウーン、いや、今日はせめてとこう。

寒くおなえさるために一杯飲んでいる。施設に入ったなら、酒を飲まないことは約束できるが、今飲んでるのは紹介してもらったのは申し訳ない。

それにセンターの輪番は日よう祭日を抜いて八日に一回まわっている。二九、三〇日にはあたることになる。テントに泊まりながら月三回の仕事で生きている。どうしてか仕事をのがすことはできないう。それまでは二二でがんばるしかない。確実に仕事に就けると約束してくれただら行きたいが……

臨時宿泊所や施設は刑務所ではないので外出はできる。二八日の三日分の紹介の時も仕事があたった日を外出すれば支障のないうことを伝えると、本当に何があつてくれるか、一回のがすのは大きいかから、と念を押して、約束だと答えを聞いて、お願ひしますと言った。その時から二二日入る。

えっとり

明日臨時宿泊所受付 受付開始 午前8時半 整理券配布 午前4時

明日、29日、南港臨時宿泊所の受付が、市更相である。

昨年は28日深夜から、多くの仲間が市更相前から南港に列をなしたことで、29日午前8時半から整理券を配り始め、29日受付予定人数分の整理券を6時まで配り切った。その間、多くの混乱があったので、今年には整理券の配布場所が変わる。

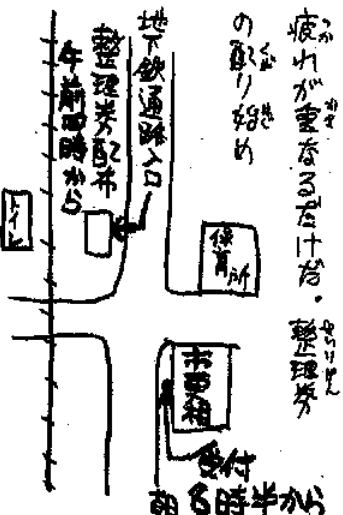
市更相前の交差点、北西角にある地下鉄通路入口北側で、配布される。配布する時間は29日の午前4時からだ。

臨時宿泊所への受け入れ人数は三千人だが、受付件数で千数百人ほどは足りる。

あるので、29日に二千三百人の整理券が配られ、その整理券を持った者が受付から入ることになる。

30日には残り七百人の受付となる。

野宿を余儀なくされている仲間がふえてくるので、三千人でも少ないと考える仲間も多いと聞く。実際にそうだが、あまり早くから並んでも疲れが重なるだけだ。整理券の配り始め



センター輪番紹介

今日は三日分の紹介

西成労働福祉センターの高令者就労事業の輪番紹介は、28日の就労、29日の就労、30日の就労の三日分の紹介が、今日おこなわれる。

番号が振ばないようになさってください。また、自分のあたったのが何日なのかをよく確認し、紹介票をなくさないようにしなさい。

臨泊からのアシ

30日は、勝船が、臨泊まで、朝おかえに行くが、年明け四日から大阪市が外出者のために用意するバスを利用することになる。

臨泊から釜に帰る予定、就労予定日にはあらかじめ前日、臨泊内の係りの人に申し出ておこう。

なお、年明け四日からはいっただけあり、当日分だけの紹介にしてください。紹介票をなくさないように注意。

医療パート報告

北まわり 201名
南まわり 297名
区庁センター下 36名

北テナ
南テナ

四角公園で、弱って寝る人かいて、リヤカにみんがで抱えてのせて、センターまで行きました。水をかけられたようで、びしょり濡れて、からだも弱くて、救急車を呼びました。杏林病院に入院しました。北まわりでは、置いてたペットボトルの水を布団にかけて、氷びたしにされて、他所へ移したという話をききました。

から、本日の受付作業でも四時間半もある。

29日に二千三百人、30日に七百人のワケがある。

昨年は一、二千七百人だった。三百人増えたとまっている。たいがい利用希望者はアブレルことなく入所できるものと思われる。

整理券配布の開始時間、受付の時間をよく考えて列に並ぼう。

また、整理券は当日の計有効だ。29日にもらった整理券で30日に受付けをうけることはできない。30日には30日の整理券でないといけない。

30日の受付作業でもないといけない。

29日の受付作業でもないといけない。

臨時宿泊所は一月七日朝まで利用できる。できる限りがマンして、期間一杯利用し、体力の回復につためよう。

臨時宿泊所には大阪市民生局の職員がいる。

臨時宿泊所には大阪市民生局の職員がいる。

臨時宿泊所には大阪市民生局の職員がいる。

医療連からの報告

釜崎の仲間のみなさん!!

二日より、昨日より、私達、釜崎医療連総会議は、年末年始の医療相談活動を開始した。

より多くの仲間のみなさんが、医療相談に結集し、市更相に対して、キチンと生活保護を行う様、医療連と共に、要求して行い!!

釜崎の仲間のみなさん!!

私達、医療連は、79年に入ってから、市更相の法的責任を明らかにするたために、生活保護を文書で、要求する取り組みを続けている。この様な我々の取り組みに対し、市更相は、

向中によく相談しよう。

六五才を越えていなくてもエンリウすることはない。七日以降の生活についてどうも相談しよう!

生活保護の取り下げを申請者に強要し、とにかく一時的な法外対策で、切り抜け様と必死である。

さらに、市更相は、去る12月20日(火)の医療相談の際に、市更相職員の下げつた姿勢に對しての釜崎の仲間の道理ある抗議に対し、白鳳堂、公安、警察権力を、市更相内に導入すると言った暴挙まで行、て来て

いる。

我々、医療連は、この様な市更相の卑劣なやり方を断じて許さず、今後も、ねばり強く、生活保護要求の取り組みを続けて行く決意だ!!

今日も引き続き、医療相談あり

医療相談あり

医療相談あり

医療相談あり

医療相談あり

医療相談あり

えっとり

第30回釜ヶ崎越冬闘争実行委員会
 大阪市西成区萩之茶屋2-5-23
 釜ヶ崎解放会館2階
 1999年12月29日

本日29日南港臨泊 受付開始 寝床の無い仲間にはみんな行こう (12.29.30 ~ 1.7まで)

仲間たち！
 本日、明日と2日間に渡り、南港の臨時無料
 臨泊所受付が市主催にて行われる。

朝、4時から、受付に際しての整理券が配
 られ、朝8時半から整理券順に面接が開始され
 る。面接後、南港新倉庫カード区にて待期して
 いるバスに乗り込み南港へ出発する。

寝床のない仲間、正月が越せそうにない仲間
 は、みんな、行つて頑張つてもらいたい。

臨泊は、一九七〇年以降、本場に集積してい
 た行路死に討して行政責任を追求し、越年越冬
 対策として叫び続けたものだ。

当初は肉体的苦痛や長柄傘などで、生存の権限を
 利用して行われていたが、今日は、南港にわざ
 わざ三億円の金を費し之を建設運営されている。

多少の不自由ではあるかもしれないが、困っ
 ている仲間は、しっかりと活用してもらいたい。

「お知らせ」

本日より、南港臨泊開始にともない、石炭運
 搬の北と南の大手シートを二層と目
 まで閉鎖します。シートを利用してい
 る仲間は南港へ入行して下さい。

「ゴア」承下さい

医療連 からの報告

12月29日から、28日にかけて行った、医療
 相談の全体的な傾向は、臨泊につなぐための
 市主催側の一時的な対応の結果、タマ、セン
 ターへの入所者が多くなったという点だ。

今回の臨泊の規模は三〇〇〇人程度と言わ
 れているが、野宿者ですとに一万五〇〇〇人
 と言われている大阪市の現状に耐え得る物で
 はないし、二〇〇〇年の一月二日以降は、再
 び公園や路上での野宿生活を準備なくされる
 事になる。

釜ヶ崎の仲間みなさん、
 私達、医療連は、臨泊明けの一月五日には、
 生活保護の学習会を行い、そして、一月六日
 には、集積して医療相談を行う中で、徹夜
 した窓口に仲介を臨泊明けに、市主催に討して
 行う予定だ。

より多くの仲間が、臨泊明けの医療連の取
 り組に結果し、権利として保障されている生
 活保護を勝ち取って行こう。

「ゴア」承下さい

市更相前 175名	ナハ心斎橋 62名
北まわり 193名	エヒ心斎橋 86名
南まわり 332名	日本橋西 166名
区りよセンター 110名	アパノ 90名
	日本橋東 205名
	えびの町 82名
	四天王寺 48名

市更相の向いで、もうたくさんの人か、全部、準備の人も、
 ついて、並んでまっています。心斎橋の方でも、二心
 から、臨泊に行くと言っていました。市更相の場所を
 知らぬという人もありました。でも、荷物があるから
 行けなという人も、以前、受付で知られたから行くという人もあり
 ました。

全国霊せ場で越冬

笠島より

12月26日、オハラ公園を拠点に越冬
 準備突入。二百名の仲間と共に野宿用
 金を準備する。夜間には名古屋市内各
 所へ人民ハトロール、野宿する八百名
 の仲間と交流する。
 28日には、正月を前に浮かれる中取
 留。中福祉へごま、仲間の怒りを叩き
 つけた。

今越冬では、ハトロールを軸に、野
 宿する仲間との結び付きを強め、さらに
 舟見寮(名古屋の臨泊)で年を越す仲
 間の交流を積み重ねながら、家改善
 計画を強めたい。また、悪徳業
 者に討つる意気も予定している。

寿(横)より

12月26日、山田原・川崎・藤沢の仲
 間と共に越冬突入集会をもちつた。



神奈川県内各所で行われている人民
 ハトロールと結び付き、野宿を強
 られている仲間の全国的な団結を強
 めてゆきたい。

29日より、寿のド真中に建
 れたるレハジを寿の仲間自身の手で
 運営してゆく自主管理野宿突入開始さ
 れる。このレハジを拠点に、仲間
 の命を守り抜く闘いを展開してゆき
 たい。

山谷より

12月26日、越冬準備突入集会が、
 山谷野宿者会館で盛んに行われた。山
 谷・福田川辺・上野・浅草から80名
 の仲間が集まり、野宿を全都の仲間
 と共に闘う決意を固めた。

28日には、山谷野宿センター前に
 野宿拠点を設置した。この拠点を通
 じ、飯を炊き、ハトロールを展開する

ハトロールの内容を豊く化し、各地で
 野宿を強いられている仲間、自立支援
 センター設立を巡る行政閉鎖を訴え、
 参議の積み重ねから立ち上げられた野宿
 相談所を軸に、仲間自身による野宿活動
 を展開してゆきたい。

大塚より

28日、扇橋公園で越冬突入集会を行
 った。梅田・扇橋・中ノ島で野宿する仲間
 140名が集まり、1月4日まで、昼
 夜の間の炊き出し、カンパ活動、ハトロ
 ール等を仲間自身の手で担い抜く事を確
 めめた。

1月4日、お礼参りしごまを金の仲間
 と共に闘う。金と共に大塚市を南北から
 撃つ闘いを

北テント 263%

南テント 285%

えっと

まだまだいける

南港・臨時宿泊所

今日午前中まで、千名

昨日入所決定 二千九名

昨日、臨時宿泊所の受付初日だった。おとついの頃から整理券の配布を待つ仲間の列は、市更相前の地下鉄通路口からセンターの20番シャッターまで続き、整理券配布から一時間で千七百番台まで配られた。29日分の整理券は二千三百枚予定通り配られたが、自分の番番がまわってくるまでの間に、なんらかの事情で受け付けた来られなかった仲間が二百七十六名おり、実際に入所決定された仲間は二千九名であった。

千名と出かから発表されて「この日まで千名入所できることになる。」整理券は、今日の朝四時から配布されるが、受け付けは午前八時半から。昨日、29日にもらった整理券は無効で、今日、30日分の整理券を、あらためてもらわなくてはならぬ。一月七日まで、三食・風呂付で体かの回復をすることが出来る臨時を治用しよう。

入所を確保するために、午前中に受け付けを早ませ、臨時行きのバスに乗ろう!!

臨時宿泊所への行き帰りには地下鉄・ニュータウンバスを利用する。
 地下鉄花園駅から住友江公園までニュータウンに乗りかえ南港東へ。
 料金は270円。

バスで南港南から食品店まで乗る。料金は200円

バス停
 南港南6
 南港南
 南港東

三倉公園今日の予定

廣田先生の1食の提供(勝たての会)
 午前11時30分から

コンサート
 午後2時から
 贈り物のプレゼント

明日の予定(31日)

医療相談
 午前10時から
 医療センター前で

医療パトロール

北まわり 163名
南まわり 314名
医療センター 26%

藍泊に2千人の人が行ったけど、南も北も、余り変わらない感じでした。藍泊は、湯のめいはいし、親創があるからいやという人や、ここにずっと居るから行かないという人もありました。かせをひいてる人も荷人のついて、せきこんで、うらそうでした。かせ薬をわたしました。



赤字で飯場から

帰った仲間

年末年始

ネドコを確保できない仲間

今すぐ監泊受付へ!!

仲間たち、監泊はなにも長期に野宿しているものだけのものではない、年末まで飯場にいたが、赤字で、あるいはごく少ない取分で帰った仲間、年末年始のヤドを確保できないで困っているだろう、そんな仲間を臨時監泊所を利用することができ、る。

ともかく、年末年始、この寒空の下アオカンせざるをえな事情にある仲間は、今日、午前中に監泊の受け付けに行き、体調を調事もことになる野宿を回避する努力をしよう。

仲間のネドコとして運営されていく南のテントは臨時監泊所中開帳

されている。

大テントとキャンパンでは、仲間の命を守りきれなり。長引く野宿で体力をなくした仲間一人が、あけ方の冷えこみで、もがくことなく、誰にも気付けられず死んでいたことが、事実として物語っている。

その逆に、前段巡回相談で施設に入った仲間は、元気を養い見せてくれる。

29日か30日に輪番にあたる、ちやんと外出して仕事できるか奮気にしながら巡回相談に応じ施設に入ったAさんは、29日、生活道路清掃事務所で、にこやかに笑い、ありがたうございました。と元気に挨拶した。

一週間もたつていないのに、見ずがえりような笑顔だった。

限られた期間ではあるが、利用でまざるものは利用して、自分の身体、生命を守ろう。そして、次の対策をしよう。

今夜から

拡大パトロール開始

仲間たち、才30回益々、崎越冬斗争実行委員会は、長引く野宿生活でおとろえた体力を、いっさか回復するため、臨時監泊所を、積極的に活用するよう、呼びかけている。

しかし、長引く野宿生活でできた生活パターンを変えることをいっさきよこさない仲間もたくさんいる。

それは監泊が一月七日までの期間限定であり、その後はまた元の生活に戻らなければならぬことが、まろくしていることによるものだ。

我々はそれぞれ監泊の活用を訴えるが、現状維持を望んだ仲間を見捨てることはできない。

できることは地区内外をパトロールして激励するぐらいだが、今年も例年通り実施する。在籍の仲間、お力を

二〇〇〇年問題？

世間で騒がれている二〇〇〇年問題というものが、果して取ざたせられるほど大問題であったのかどうかの結果の一部が、後十数時間後に明らかになる。なにもおこらなければ、対策の徹底したおかげということになる。そして二〇〇〇年問題騒ぎはコロンビア関係会社とソフト会社の自作自演の疑いもある。なにも

おこらなければ、評価のしようもない。後でできる評価は経済的効果だけだ。四ヶ夕表示を二ヶ夕表示してきた節約効果とその結果生じるかも知れない問題に付するための費用との十一パーセント、単独に、不況下の需要喚起効果で評価されるかも知れない。

もともとをなげれば、問題予測と計画的な対策の効果の如何とされるかも知れない。野宿生活者対策に欠けていたものだ。問題予測は半違ひだが、計画的な対策の実施は怠りがない。

医療相談から臨泊へ 今日、朝10時医療センター前

大きな声ではいえないが、年末最終の医療相談は、南港・臨時宿泊所への最後の入口となるのが恒例だ。

もちろん、体の具合の悪い人がお医者さんに診てもらいたい場合で、そのために来てくれている関係者には、よくと申し訳ないが、野宿していただくには悪い。入院・加療するまでもない人も、念のため診てもらおう。その後、市更相で相談し、臨泊へ行くよりしたくあり。

腹にたまる一食の提供

年末年始予定(勝たての会)

三二日 午前11時半 ホルモン丼

午後6時 年越しそば

一月一日 午前8時 きんぎょ玉子雑炊

午後12時30分 揚げ汁

午後6時 カレー丼

一月二日 午前9時 午後12時

餅つき(雑煮・ぜんざい・うけ餅)

午後6時 親子丼

一月三日 午前8時 きんぎょ玉子雑炊

午後12時半 他人丼

午後6時 沖縄そば

一月四日 午前8時 味噌汁(おたけり)

午前11時半 カレー丼

午後6時 中華風きんぎょ野菜丼

一月五日 一月一日のあじだ

毎日、午前11時30分 丼

連日、炊き出しがおこなわれます。臨泊を優先しなかつた仲間は三角公園へ、いろんな催しもあります。

医療パト報告

北まわり 154名
南まわり 368名
医療センター 26名

医療センターの下から出発してすぐ、乗車の中に居た人が、せいせいして、熱も高くて、救急車で病院に行こうと言ったけど、病院いやや行かんよ。パト終わってから、もう一度、その人のとこうに行つて、仲間かいつしよに救急車にのりて行つて、面会にも行くよと言つたら、行くと言つて、救急車で入中病院に行きましょよ

整理券発行二九二三枚 入所許可二四九二人 四百数十人はどこへ

臨時宿泊所の受付がおわつた。整理券は二千九百二十三枚が配られ、面談の上入所決定されたものは二千四百九十二人と、結果が伝えられている。昨年の入所より少ない。

臨時宿泊所の受入数は三千人とされていたので五百以上のベッドが空いていることになる。

今年の現金求人数は昨年より多かつたので、昨年の入所者数より減つて当然という声がある。本当だろうか。

気になるのは、整理券を手に入れたから面談に行かなかつた四百数十名の仲間の存在だ。

長期化した野宿生活で、手荷物(高)が増えた仲間は、その荷物が心配で臥床へ行けない。臥床から出たあと、自力で生きなければならぬ。これは明らかだからだ。

臥床行きのバスには少々の荷物を積むスペースがあること、荷物の持ち込みができること、それらがもっと知らされる必要があつたと思つた。

なによりも先が見通せる対策が示される必要がある。

また、不気味のある対策にも応じる仲間を放置となり、重鎮した対策を打ち出し、これ以上野宿固定化を進行させないことが求められる。

越冬まつり 予定表

三日 午後3時～8時

マサバンド、松田美穂、加納サチマ

アキヤコ一座、生活サーカス、曾

野鬼子、ノド自慢大会は五時頃

一月一日 午後1時～8時

卓球大会 仙石、菓子屋、コーク

ラフ音楽、蘇我浩司、吉野川徳子

一月二日 午前9時～8時

餅つき大会 三角公園バンド、ト

ウマーマー、清水彩月、脇香樹

西島礼子、大巻まき子のむらあき

一月三日 午後1時～8時

ソフトボール大会 ポップコーン

にわか、井上幸、田村匡一、ケイ

コ&ヒカル、ティビティビ、ガジ

マル

誰にでも開かれた釜ヶ崎の越冬まつり、みんなであそぼう！

えっとろ

謹賀新年

金の玉を射止める闘いを

そして 野宿固定化を打ち破ろう



ロシアのエリツィン大統領が辞任したとのテレビ速報は、二千年問題と関係あるかどうか知らぬ。

年がかつたことを取ったとする。ことに、それぞれがどのよきな思いを保持しているかもわからぬ。

それでも、とりあえず新年の御挨拶、今年こそ公的雇用の二千人創出を、二千人のシェルターを実現させよう。金の玉を射止める闘いを、そして、野宿固定化を打ち破ろう！

あけまして、おめでとう。今年も生き抜こう！

昨年は政府の、ホームレス問題連

結会議の立ち上げ、自立支援センター構想のあひるめなど、誇りがおれにおわった感がある。雇用創出基金交付金は、少しは有効性をもったが不十分であった。

一人一人がただ単に数のうに数えられる存在であることにあまんじることやめ、一人一人の要求を仲間の声にまとめ、雇用拡大・シェルター開設の実現を引き出す行動をおこそう。今年四月、野宿生活者対策の新しい枠組みを築いておこそう。

今日の三角公園

腹にたまひ二食の操

朝8時 マグロみ玉子雑炊

昼12時半 粉汁・おにぎ

夕6時 カレー丼

備え物

午後1時〜8時

寒さを吹きとばせノ卓球大会

コンサート(仙石・菓子屋・コーク
ラブ音楽・蘇我造司・吉野川徳子)

明日の三角公園

午前9時から

団結 餅つき大会

雑煮・せんざい・つけ餅

午後一時

衣類放出・米三彈

夕六時 親子丼

誰にでも開かれた越冬まつり、みんな集って集るもの。

太鼓のリズム 市民への深夜の

昨日、三角公園で催し、年越しその提供があった。拡大パトも実施された。軽快な太鼓のリズムのついで

のび自慢大会ー七百人

昨日、三角公園において、バンド演奏や軽快な太鼓のリズムにのついで仲間達のもの自慢大会がおこなわれた。

のび自慢大会は、年越しその提供もあいなわれ、三角公園にその時集って七百人を超える仲間のおなかの中に納ったのは千食分であった。

年越しそばを食べ終わった後の野夷子さんの「釜ヶ崎人情」も、三百人近くの舞る前の仲間の声援を受けた。おひねりを渡す仲間もあり、

野夷子さんは、大変なとき私がい

ただいいのから、と恐縮しながらも、そこは心意気と心意気の間題、ありがたうと気持ちよく締められた。

ゼニカネにかえられたい事ごいこのはあるとのた。

心音橋で藤本さんへのび

市民へ野宿生活者問題を訴える

心音橋筋式橋の上から道石堀川へ落として、無念の溺死を藤本さんがとけさせられたのは、五年前のことだ。

そのようなことが何度も繰り返されることを許さず、多くの市民に野宿を命儀なくされる仲間への理解を訴えるため、また、

せず、今なお路上にとどまっている仲間を激励するための拡大パトローリが、昨夜、おこなわれた。

藤本さんが投げ捨てられた式橋の上で、しほことまり、藤本さんを追悼するともに、道行く市民に野宿している仲間は仕事を求めていること、安心して寝られる場所を切実に求めていることを訴えた。

足を止めて聞かせる若者も多く、今後も、多くの人へ伝える勢いが感じられたいことを感じさせた。

雑報

動物園前の巨大お風呂の前で、二人の若者が、電気が止まったからと歌っていた。二千年問題の二つが、式橋の周辺にも百人を超える機動隊員や私服警官がたむろしていた。

これを二千年問題への対策の一つからん、二千年問題の二つが、

医療パト報告
北まわり 181名
南まわり 369名
医療センター 40名

30日の夜、救急車で大和中央病院に行った人は、来たばかりで、センター下まで戻って寝ました。病院に付いては、不信感があります。昨夜も、かせ薬を渡す人が多かったです。地区外も回りました。日本橋西は142名で、少し少なくなりました。日本橋東は193名